



# 議会だより なおしま

2021 No. 196  
令和3年7月9日

発行 ● 香川県直島町議会  
編集 ● 広報編集特別委員会  
電話 ● (087) 892-2297  
印刷 ● 山陽印刷(株)



女文楽とこども座の共演

**正・副議長決まる(臨時会) …………… 2・3P**  
**高齢者へのワクチン接種始まる(町長報告) …………… 4P**  
**人口減少を止めるために他(4人が一般質問) …… 6～8P**  
**空き家購入後でも補助が(あれ、どんなとん) …………… 9P**  
**SNSで発信(がんばりよるで) …………… 10P**

# のため」

## 〈井下議長〉

# 井下議長・浜口副議長を選出

## 各委員会の委員と正副委員長も決まりました

5月10日臨時会を開催し、正・副議長の選出をはじめ、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会などの議会構成を行ないました。また、教育委員会委員の任命に同意しました。

### 就任あいさつ



井下 良雄 議長

本臨時会におきまして議員各位のご推挙をいただき、再度議長に就任させていただきました。今、この重責を強く心にかけているところであります。

現在の直島町を考えてみますと、財政のひっ迫、少子高齢化、そして2年にまたぐ新型コロナウイルス感染症等、大変大きな問題を抱えております。

また、国が進めるデジタル改革推進等、将来に向けた変革の流れに遅れることなく、改革の先端を行くという気持ちを議会そして執行部が持つべきときと考えます。

この直島の未来を変えていく大切な時期の議長就任、全て町のため、町民のためという気持ちで努力する覚悟であります。

執行部と議会、お互いの立場で切磋琢磨し、明るい直島町を築き上げたいと考えております。

皆さまのご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



浜口 敏夫 副議長

### 町のさらなる発展と 活性化を

5月臨時会において、議員各位のあたたかいご推挙により、再度、副議長に就任することになりました。

責任の重さをしっかりと受けとめ、是非々の精神を忘れずに、井下議長を補佐します。

議員の皆さま・町執行部とともに、直島町がさらに発展活性化していくよう、また、円滑な議会運営に、微力ではございますが、努力したいと思っております。

皆さまのご協力を心よりお願い申し上げます。

# 「全て町のため、町民

## 〈議会構成〉

### 常任委員会

#### ◆総務・文教

委員長 山上 英一  
副委員長 宮原 三郎  
委員 西岡裕喜広  
小野 孝一  
井下 良雄

#### ◆経済・民生

委員長 中根 清孝  
副委員長 松島 俊雄  
委員 山下 玲子  
浜口 敏夫

### 特別委員会

#### ◆活性化対策

委員長 西岡裕喜広  
副委員長 小野 孝一  
委員 他議員全員

#### ◆広報編集

委員長 山下 玲子  
副委員長 浜口 敏夫  
委員 山上 英一  
西岡裕喜広  
中根 清孝  
宮原 三郎  
小野 孝一

#### ◆デジタル改革推進

委員長 宮原 三郎  
副委員長 山上 英一  
委員 他議員全員

### 議会運営委員会

委員長 松島 俊雄  
副委員長 山下 玲子  
委員 他正副議長を除く議員

### 議会選出監査

委員 小野 孝一

### 香川県後期高齢者医療広域連合議会

議員 井下 良雄

### 玉野市・直島町連絡協議会

理事 井下 良雄  
委員 他議員全員

## 動議

### デジタル改革推進特別委員会を設置

5月10日開催の臨時会において、浜口議員から「デジタル改革推進特別委員会」設置についての動議が提出され、賛成全員で可決した。

(趣旨)

直島町は、国の方針に基づいたデジタル化の流れに対応するため、本年度から「デジタル推進室」を設置した。

マイナンバーカードの普及をはじめとし、健康や教育など、公共分野における行政手続きのデジタル化を推進することで行政の簡素化や効率化、透明性向上を図ることができる。

デジタル改革推進は、町にとって重要な課題であり、議会としても、新たに「デジタル改革推進特別委員会」を設置し、議会閉会中も、町執行部とともに、調査・研究を進める必要がある。

なお、この特別委員会は、議員全員による構成とする。

## 人事

### 教育委員会委員の任命

教育委員会委員に、清水宏氏を任命することに同意しました。

任期は令和3年4月1日から2年間



清水 宏氏

### 工事請負契約

老朽化している積浦集会所と第2分団屯所を建設するものです。

#### ●契約の目的

積浦集会所等整備工事

#### ●契約の方法

指名競争入札

#### ●契約金額

1億7050万円

#### ●契約の相手方

株式会社 高岸工務店



小林町長

一般町民も  
8月中には  
完了したい

# 高齢者への ワクチン接種始まる

10日に開催し  
教育長報告に対  
し、提出された  
3件を慎重に審  
査し、全員賛成で

(主なもの)

- 3月5日 令和2年度直島町表彰式を執り行ない、直島町表彰を個人3人並びに感謝状を2団体、個人3人に贈呈しました。
- 3月18日 新型コロナウイルスワクチン接種体制に関する知事とのオンライン会議が開催され出席しました。
- 3月30日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会総会が開催され出席しました。
- 3月31日 三菱マテリアル(株)直島製錬所から、銅製ボールペンの寄贈がありました。
- 4月7日 町民体育祭実行委員会総会を開催しました。
- 4月17日 町内で東京2020オリンピック聖火リレーが開催されました。
- 5月10日 新型コロナウイルスワクチン接種訓練に参加しました。
- 5月14日 笠原直島文化村代表取締役社長他が新型コロナウイルス対策協議のため来庁されました。
- 5月17日 新型コロナウイルスワクチン接種が開始され、視察しました。
- 5月27日 直島の火まつり実行委員会を開催しました。

## 主な質疑

新型コロナウイルス  
接種始まる

**Q** (浜口) 6月21日  
より企業単位でワ  
クチンの接種が可能とな  
るが、町から三菱マテリ  
アルやベネッセに希望調  
査は行なったか。

**A** (町長) 協議した  
が難しいとのこと  
だった。

**Q** (浜口) 人口10  
00人未満の離島  
では「高齢者優先」を問

わす一斉接種ができてい  
る。本町も一般の住民へ  
の早期接種に向けて、県  
に働きかけたらどうか。

**A** (町長) 一般の方  
への接種について  
は、鋭意検討していると  
ころであり、高齢者の接  
種が順調に進んでいるこ  
とから、60歳以上につい  
ては、すでに前倒しして  
実施している。

**Q** (浜口) 報道によ  
れば、ワクチンに  
余剰があると言われてお  
り、優先的に本町に回す  
よう頼めないか。

者の状況は。

**A** (町長) 現在、大  
規模接種会場など  
では、余裕のあるモデル  
ナ製のワクチンを使用し  
ていると聞いている。

本町では、ファイザー  
製のワクチンで統一しな  
ければならず、知事にて  
きる限り早急な対応を要  
望している。

ワクチンさえ入れれば8  
月中には希望するすべて  
の町民への接種は可能だ。

**Q** (山上) 接種後の  
副反応や体調不良

**A** (町長) 若い人の  
中で接種後に微熱  
が出たと聞いている。

**Q** (西岡) 市長、市  
民病院理事長への  
訪問の際、本町の看護師  
不足を解消するためのお  
願いをしたのか。

**A** (町長) 玉野市で  
も同様に看護師が  
不足している状態であり  
難しいと聞いている。

**Q** (西岡) みどりを  
守る会が解散した

が、何か理由があったの  
か。

**A** (町長) 会員の高  
齢化によるもの  
で、活動が難しくなった  
と聞いている。

**Q** (山上) 直島町で  
の処理はすでに終  
了しているが、豊島での  
水処理はいつ完了するの  
か。

**A** (町長) 国庫補助  
金が令和4年度に  
終了となる。県は必ずそ  
れまでに完了するよう努  
力するとのこと。



順調に進むワクチン接種 (西部公民館)



鴨井教育長

休園の考えは  
なかった

# ノロウイルスの 発生ゼロは困難だ

6月定例会を  
ました。町長・  
して質疑を行な  
報告3件・議案  
議し、原案のと  
可決しました。

## (主なもの)

- 3月12日 中学校卒業証書授与式が新型コロナウイルス感染症予防のため、卒業生(15人)と保護者、教職員で挙行されました。
- 3月15日 小学校卒業証書授与式が卒業生(27人)と保護者、教職員で挙行されました。
- 3月16日 幼児学園修了証書授与式が卒園児(17人)と保護者、教職員で挙行されました。
- 4月7日 町民体育祭実行委員会総会が開催され、今年度も中止が決定されました。
- 4月8日 中学校の入学式が新入生(26人)と保護者、教職員で挙行されました。
- 4月8日 幼児学園園庭にこいのぼりを掲揚しました。
- 4月9日 小学校の入学式が新入生(15人)と保護者、教職員で挙行されました。
- 4月12日 幼児学園の入園式が入園児(38人)と保護者、教職員で挙行されました。
- 4月17日 東京2020オリンピック聖火リレーが開催されました。
- 4月20日 県教育委員会文化財課と埋蔵文化財センターの関係者が新規事業の説明に来庁されました。
- 5月27日 火まつり実行委員会が開催され、今年度も中止が決定されました。

卒業と入学の  
人数の違いは

## 主な質疑



明るい未来へ

**Q** (松島) 小・中学校の入学人数が卒業人数より少ない理由は。

**A** (教育長) 保護者が転勤したことや、家庭の都合で高松市の学校に進学したためだ。

## ノロウイルスの報告は

**Q** (松島) ノロウイルスが幼児学園で集団発生したが、報告にないのはなぜか。また、休園すべきではなかったか。

**A** (教育長) 園でど保護者に予防の啓発をお願いしても、発生をゼロにするのは困難だ。幼児学園は幼児教育の拠点であることなどから、休園の考えはなかった。

**Q** (松島) 今回のノロウイルス発生に関して、執行部も教育現場も、感染症に対してもっと危機感を持つべきだ。今後、危機感を強めて対応してもらいたい。

## こいのぼり減少の対策を

**Q** (西岡) 毎年こいのぼりの数が減少している。最近こいのぼりがコンパクトになり、寄付されなくなったためだ。提案だが、こいのぼりを卒園製作してもらい、毎年一匹ずつ増やしていくのはどうか。

**A** (教育長) 耐久性や見た目など、総合的に考えて前向きに進めたい。

**A** (教育次長) 今年度から3年間の事業で、県埋蔵文化財センターと町教育委員会とが共催となる。今年度は80カ所の遺跡を調査する。年度内には経過報告をし、最終年度には最終報告を行なう。役場ロビーや教育文化祭で成果を発表する。

## ギガスクールの状況は

**Q** (宮原) ギガスクールについて、ハード面の環境整備やソフト面での先生の指導マニュアル取得状況、児童・生徒の使用状況は。

**A** (教育次長) 昨年度に小・中学校に端末機タブレットを1人1台入れている。また、Wi-Fiも整備を終えている。

## 見上げる園児たち



## 埋蔵文化事業の内容は

**Q** (中根) 埋蔵文化の新規事業の内容を説明を。

今年度は、小学校の校外学習でタブレットを持ち出して学習を行った。

# 4人が問いました

内容は質問者の責任において作成しています。



西岡 議員

災害時に備えている備蓄品は、消費期限や賞味期限があり、その都度更新していると思う。当町では乳児検診の際に消費期限間近の粉ミルクを配布していると聞いています。他の自治体では廃棄処分している現状もあるが、食品ロスをなくし持続可能な資源利用に取り組む自治体もある。

そこで、消費期限が近い物を有効活用したらどうか。例えば学校給食や町民体育祭等イベントの際に希望者に配布する等、食品ロスの観点から多種多様なことが考えられるのではないかと。

**A**

(町長) 備蓄品は、食品や飲料水だけでなく、生活必需品など大規模災害の発生時にも、対応できるように備蓄を進めている。使用期限・賞味期限の

## 備蓄品の有効活用を

〔町長〕 無駄のない活用を考える



災害時に備える備蓄品

対応は、昨年度から幼小中合同避難訓練時に備蓄品を紹介し、防災教育の一環として配布している。

また、各自主防災会が主催する防災講演会や、シルバークルチャー教室で講話の際に啓発活動と

して配布している。さらに日赤直島分区の炊き出し訓練時に、乾燥米を提携している。

備蓄品は、公費で購入しているため、不平等な配布及び使用方法にならないよう注意している。

現在、町立診療所では、発熱患者でもコロナの問診に合致しなければPCR検査を行っていないと聞く。

陽性者には、さまざまな症状があり、医師が感染を疑う際の検査だけでなく、患者の安心を確保するために積極的な検査が必要ではないかと。発熱外来設置時にはPCR検査を実施すべきでは。

**A**

(町長) PCR検査は行政検査であるため、医師が感染のトリアージ表を用いて、検査の対象が否かを判断している。本人が不安であれば検査可能な医療機関に行くよう伝えている。

また診療所では、感染拡大防止のため、今年5月から抗原検査を導入し

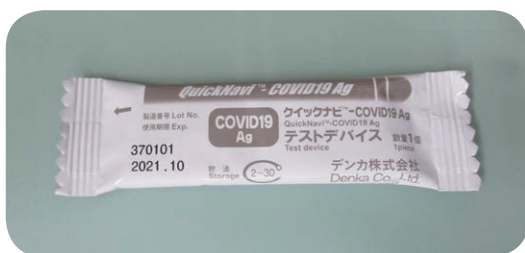
## 診療所でPCR検査を

また、期限内に町内で消費できない場合には、企業等にリサイクル品として出すことも検討して

おり、今後も情報収集を行ない、有効活用を考えたい。

ている。症状の有無の判断が困難な場合に、抗原検査を実施して結果を確認し、陽性の場合には、保健所に連絡して改めてPCR検査を行なうことになっている。

感染拡大を防ぐためには検査も必要だが、ワクチンを1日でも早く、町民に接種することが何よりの対策と考えている。



抗原検査キット



山下 議員

新型コロナウイルスの影響でリモートワーク・テレワーク等の言葉をよく聞くようになった。これらは拠点や田舎へ移すことでもあり、全国的に広がっている。小豆島町では町有施設に拠点を整備して人口増加につなげる計画で、事業費の3/4が補助の見込みとのこと。直島町



松島 議員

豊島産廃処理終了の記念事業として町立診療所を県立病院の分院とするよう県と交渉するべきと考える。

この分院化は豊島産廃処理受託の条件として、県側に提示しておけば、スンナリと実現したと考える。しかし、当時の町

## 町立診療所を県立病院の分院に

### 〔町長〕 24時間365日の現体制を継続

長はそれをやらなかった。豊島問題はそれほどに、

県としては大きな荷物であった。この潮目を見る眼が当時の町長になかったことは残念であると言わざるをえない。今となつては困難な交渉となるが、処理完了にあたり、町民への感謝と御礼として要求すべきと史料する。

〔町長〕 当町は、平成13年度に町立診療所を建設して以来、

県の格別の配慮により医師2人の派遣をいただき、町の医療体制の維持・継続が図られている。県立病院の分院設置は県立病院の目的から、現実的ではないと思われる。町としては診療所の24時間

でも古民家を整備して方策を考えてみてはどうか。また、補助制度の有効活用は財政面の改善につながるとも考えるが。

〔町長〕 小豆島町のケースは、事業廃止になった町営施設の再利用策として交付金を活用し、改修する事業だ。宿泊施設もあるので拠点施設として有料で提供

## 人口減少を止めるために

### 〔町長〕 積極的に進めていきたい

し、新たなジャンルの利用者獲得を目指すのとことだ。

当町の現状は、つつじ荘を管理している「直島アートユニット」からWiFi環境整備の提案が来ている。宿泊利用者へのサービス提供がメインだが、テレワーク・ワーケーション利用も想定している。現段階では

365日の診療体制を継続していきたいと考えている。

〔町長〕 私は今回を含めて7回の一般質問

をしている。そのいずれにもゼロ回答だ。過去6回の質問、私が町長を続けておれば実現した内容だ。

今回も当時在籍しておれば当然この問題も解決したと思っている。小林町長の残任期間も少ない中、この分院問題を来期

具体的提案協議はまだ進んでいないが、利便性の向上や新たな利用者の獲得、収入拡大につながる取り組みとして積極的に進めていこうと考えている。

古民家の活用については現在、直島カラーズに登録の空き家がない状態だ。しかし、町内には必ず存在していると思うので効果的、効率的な調査方法を検討する等、少しの猶予をいただきたい。

の公約として汗を流していくという意思決定をしたうえで進めようか。

〔町長〕 答弁した

とおり。現体制を継続していくこと。これが町の責任。分院にするとかしないとか、そういう議論は全く考えていない。

〔町長〕 現在空いているパオやキャンピング

客をメインとして

いるが、将来的にはそれもひっくり返るめてどのようになれるのか、協議していきたい。



テレワークのしくみ



町立診療所は現体制で（町長）



宮原 議員

2021年4月1日現在の人口は、下の表1のとおり、3047人。そして下の表2が、私が2019年4月選挙で立候補ポスターに掲載した人口推計（あくまで目安のもの）が、3066人で、推計値より実績は19人減少。ますます町の人口が3000人を切る現実味が出てきている。

## 人口増加対策のイメージは

〔町長〕リースによる住宅整備

3月の町長答弁で、「令和3年度には増加のための方策を示したい」と回答した。町長4年目で幾分遅いような感じがするが、何か増加対策のためのイメージ的なものは。

〔町長〕横防地区に家族用住宅の建設や、初期投資が最小限に抑えられるリースによる住宅整備などを考えている。

以前の私の一般質問で人口増加対策の一つとして借地借家法の「定期借家制度」を提案したところ、町長はこれについて検討すると答弁した。その後の検討状況を教えてもらいたい。

〔町長〕定期借家制度についてはもう少し待ってもらいたい。人口3000人は、大切な基準数字と思うが、どうか。

〔町長〕大切な目録値、基準値であり、1人でも増やしていきたい。

定期借家制度とは  
通常の借家は貸借期間が満了になっても、貸主に正当な事由がなければ借家契約は継続します。

これに対して定期借家は、貸借期間が満了になれば、継続せず契約終了となるものです。この制度で借主は期間の満了で借家を出るというデメリットが生じますが再契約をうまく利用することで継続できます。

表1

住基のデータを使って改めた推計人口 (4月1日現在)		
2019年	3,097	実績
2020年	3,069	実績
2021年	3,047	実績
2022年	3,026	推計
2023年	3,003	推計
2024年	2,980	推計
2025年	2,957	推計
2026年	2,934	推計

表2

選挙ポスターでの人口推計 (人) (4月1日現在)		
2019年	3,097	実績
2020年	3,081	推計
2021年	3,066	推計
2022年	3,050	推計
2023年	3,034	推計
2024年	3,019	推計
2025年	3,003	推計
2026年	2,987	推計

(推計は全て Excel FORECAST.ETS を利用、データは住基2008.4.1より)

## 総務・文教

# 雨中の聖火リレー

山上 委員長

日、合同常任委員会を状・事業等の報告を受けた。また、新設のデジ会を開催し、今後の方

### 〔総務課〕避難情報の改正

〔山上〕5月20日から災害時に発令する避難情報の改正があったが、住民への周知と運用は。

〔課長〕各戸への町広報で周知を行う。運用は、早め早めの対応を実施する。

〔山上〕今年は梅雨入りも早く、大雨の時期が長いので、頻繁に注意喚起をしてほしい。

### 〔まちづくり観光課〕令和2年度のふるさと納税等の状況

○ふるさと納税

1532件  
6100万円

(対前年比▲36%)

○空き家バンク

物件数 47件

成約数 38件

利用者 303人

○移住者数

119人

(対前年1人減)

世帯数 95世帯

(対前年3世帯増)

### 〔教育委員会〕東京2020聖火リレー

4月17日 9人のランナーが町民グラウンドから宮浦港赤かぼちゃ広場まで聖火をつないだ。

約500人の観客のなか、スタート地点では、小学生がサポートランナーとして走り、ゴール地点では、中学生によるソーラン踊りでランナーを迎えた。



町民聖火ランナー

ので関係者が安心するような情報提供はすべきではないか。

〔教育長〕検討したい。

### 幼児学園の運動会不参加の理由は

運動会自体を無観客で実施することとなり、保護者のお迎えができないことから、不参加とした。なお、10月に単独で開催すると聞いている。

### 児童生徒にコロナ陽性者が てた場合の情報提供

〔井下〕県が発表する以上の内容は、難しいと思われるが、狭い町なので必ず情報は伝わる。関係する保護者は、心配する



5月21・24日の両開催し、各課からの現  
け、議論を交わしまし  
タル改革推進特別委員  
針を協議しました。

### やっと始まった ワクチン接種

中根 委員長

#### 〔ふれあい診療所〕

須藤・井上医師の2人  
が3月31日付で退任、吉  
野・金森医師2人が4月  
1日付で就任した。受付  
職員も1人、5月1日付  
で採用した。

**Q** (西岡) 岡山県に  
緊急事態宣言が出  
ているが、救急患者受け  
入れは大丈夫か。

**A** (事務長) 発熱の  
症状がなければ大  
丈夫だ。

#### 〔健康推進室〕

○5月17日 コロナワク  
チン接種開始。

**Q** (山上) ワクチン  
接種の予約開始  
日、役場では長蛇の列が  
でき、密になっていたが。

**A** (室長) 直接苦情  
は聞いていないが、  
多くの方が来庁し混雑し  
た。番号札を渡して混乱  
を防いだ。

**Q** (中根) 基礎疾患  
とはどんな病気

**A** (室長) 慢性の心  
臓病や腎臓病など  
14種類ある。確認は自己  
申告で、診断書や証明書  
は必要ない。



ワクチン接種 万全の体制で

#### 〔建設経済課〕

**Q** (小野) 宮浦港無  
電柱化の進捗状況

**A** (課長) 県が中心  
になり進めている。  
夏過ぎには工事が始  
まると聞いている。

**Q** (山下) 姫宮団地  
内のゴミステー  
ションの場所は決まった  
か。

**A** (課長) 場所は決  
まっているが設置  
進委員会開催。  
○4月29日 ういらぶな  
おしま「エコTシャツ

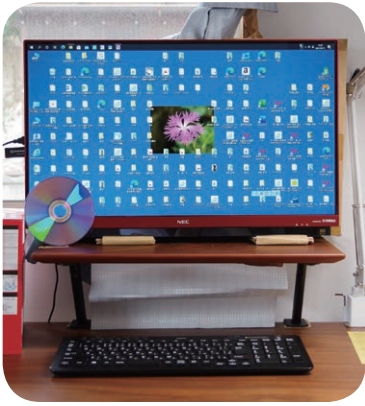
アート展」を5月5日  
まで開催。  
○7月10日 ゴミ0ク  
リーンデー  
○9月18日 自然探検隊

**A** (課長) 場所は決  
まっていたが、周辺住民と意  
見交換して設置したい。

5月24日、第1回デジタル改革推進  
特別委員会を開催、次のことを協議し  
た。

○町執行部から、デジタル推進の方針  
案を報告してもらった。

○各委員は、デジタル改革推進に係る  
基礎知識等を勉強し、より効率的に  
学習するため、デジタル推進に関す  
ることを説明してもらい、ともに研  
究する。



デジタル推進の研究を

### 一般会計

(主なもの)

- 港湾費補助金 325万円追加
- 歳入 児童福祉費補助金 1881万円追加
- 歳出 繰越金 473万円追加
- 子育て世帯生活支援特別給付金 300万円追加
- 海の駅空調設備更新設計 110万円追加
- 海の駅空調設備更新監理 44万円追加
- 海の駅空調設備更新 2200万円追加

### 令和3年度 補正予算

**Q** (宮原) 港湾費補助金  
は、国からの第2次臨  
時交付金の配分が余った関係  
で、令和3年度に配分され  
たものか。

**A** (町長) 余って配分さ  
れたものではない。国  
から配分された第2次臨時交  
付金を令和2年度と3年度  
で、使うものだ。

**Q** (山上) 今回の188  
0万円補正後に残額が  
あるのか。

**A** (総務課長) 補正後に  
残りはない。

### 追跡 あれ、どんなっとなん!

このコーナーは、議員が以前に一般質問や委員会などで質問した  
問題がその後どうなっているかを追跡してお知らせします。

#### 空き家改修の補助要件緩和を

現行の空き家改修等事業補助金交付要件では、空き家・  
空き地バンクに登録していても、空き家購入後の改修には  
補助金を利用できない。制度を緩和して、購入後の改修に  
も補助金が受けられるようにしてほしい。

答 弁

補助要綱等を検討して議会と協議したい。(小林町長)

結 果

令和3年4月1日付で、補助金交付要綱が改正施行  
され、補助金の交付申請をした日において、補助対象物  
件の売買契約日又は最初の賃貸借契約日から1年を経  
過していない物件であり、補助金の交付申請年度内に  
改修が完了する物件であることなどの条件で、購入後  
の改修でも補助金が交付されることになった。  
(令和3年5月合同常任委員会で報告 まちづくり観光課長)



梶屋 絃子 さん

今回ご登場いただいたのは「地域おこし協力隊」でがんばりよる梶屋絃子さんです。

Q こんにちは。よろしくお願いします。まず、いつどちらから来られましたか。

A こんにちは。よろしくお願いします。就任する1日前、今年の3月31日に兵庫県から移住しました。

Q 「地域おこし協力隊」で直島を選んだ理由は。理由はいくつかあるのですが、アートの好きで、去年の秋に直島へ来た時、観光地の中に生活のにおいを感じたからです。私が育った町も観光地ですが、地元民の生活と観光、その距離感と歴史が気に入りました。

Q 直島の生活で、不便なことや困ったことは。特にないです。町はともコンパクトで、私にとってはちょうどいい感じです。

Q 直島をあほしい、こうなっしてほしいの思いはありますか。長く直島に住んでいらっしやる方も、移住して来られた方も、今以上に交流をし、直島がより住み良く、楽しく暮らせる町になっしてほしいです。

Q 直島に住んでみて、初めに描いていたイメージと違ったところは。春に来たのですが、思ったよりも寒かったです。瀬戸内だから、もっ



歩いて調査しています

と温暖かと思っただけですが・・・。

Q 梶屋さんが担当されたから、移住された方、相談された方は何人くらいいますか。移住された方はまだ

いらっしやいませんが、相談に来られた方は10名ほどでしょうか。就任してすぐの4月に多く、何も分からないまま担当の職員さんの隣に座っていました(笑)。

梶屋さん、これからも移住希望者のためにがんばってください。私たちも応援しています。本日はご協力ありがとうございました。

最後に、直島の皆さまにPRすること、報告することがあれば教えてください。

A 地域おこし協力隊のSNSを、先輩の下道隊員とともに作りました。ま

つぎしおりさんと作った『セキララ☆ちゃん』というキャラクターを通して、地域おこし協力隊や直島のキラキラしたセキララでフレッシュな情報を発信していきます。応援よろしくお祈りします。

さて、7月には、日本また世界にとって大きなイベント、東京オリンピックがある。しかし現在、コロナウイルスが蔓延しており、どのような開催になるのか心配される。オリンピックの開催が日本や世界にとって、元気のでるイベントになればと願うばかりだ。(小野 記)

編集後記

ちよつと前まで正月気分だったが、気がつけば早や7月。今年は例年になく早い梅雨入り。雨が降るとテンションも下がりがみになる。今年東日本大震災から、ちょうど10年になる。テレビのニュースを見て、あの日のことを思い出した人もいたのではないでしょう

SNSで発信していきま〜す!



ここにも空き家が

ここに空き家が、去年の秋に直島へ来た時、観光地の中に生活のにおいを感じたからです。私が育った町も観光地ですが、地元民の生活と観光、その距離感と歴史が気に入りました。

Q 直島に住んでみて、初めに描いていたイメージと違ったところは。春に来たのですが、思ったよりも寒かったです。瀬戸内だから、もっ



SNSを駆使して

- 広報編集特別委員会
- 議長 井下 良雄
  - 委員長 山下 玲子
  - 副委員長 浜口 敏夫
  - 委員 山上 英一
  - 西岡裕喜広
  - 中根 清孝
  - 宮原 三郎
  - 小野 孝一